



学校だより

校訓：豊かさ・確かさ・たくましさ

小田原市立橋中学校

令和7年10月14日発行 第7号

小田原市立橋中学校

校長 松澤 文恵

10月になり、ようやく暑さも落ち着き、秋らしさを感じる季節になりました。前期の締めくくりとなる学習発表会では、生徒たちは素晴らしい発表や歌声を響かせてくれました。特ににじうたコンサートでは、順位付けによる競い合いではなく、お互いを尊重して高めあう合唱の取り組みとなり、合唱を通じて学校全体で一体感をもてた、とても素敵な時間となりました。「歌の橋」の文化が脈々と継承されていると感じました。

学校は一年間のちょうど折り返し地点、この折り返し地点がゴールまでの肝となります。前期を振り返り、点検と修正をしてゴールを目指したいものです。

「未来とは、今である」

米国の人類学者マーガレット・ミードの言葉です。「今」の積み重ねが未来であり、「今」の努力や行動が、望む未来につながっていきます。目の前の「今」を大切に、今日から始まる後期を過ごしてほしいです。

学習発表会 Imagination ～想像を創造していこう～

令和7年度学習発表会のテーマは「Imagination～想像を創造していこう」（3年1組藤本蒼芭さん考案）。

展示発表、ステージ発表、にじうたコンサート、どれも個性豊かな作品。一人ひとりが心の中で思い描いた想いを、心を一つにして、クラスの団結や連帯感という形にした発表会となりました。真剣な取り組みのあとの満足

感あふれる笑顔がとても印象的でした。

展示発表は10月27日（月）までの学校公開週間に引き続きご覧いただけます。



今年の1年生の練習に取り組む姿を見ていて、「1年生ながらこれだけにじうたコンサートの練習に熱心に取り組めるのはすごい!」と思いました。1年生がこのような練習に熱心に取り組めたのは運動会のころから「勝ち負けにこだわらず、全力で楽しむという先輩たちの想いを引き継いでいるんだなあ」と改めて感じました。さらに、学習発表会当日、先輩方の素敵な合唱を間近で聞いた1年生の気持ちの中には新たな「想い」が引き継がれたのではないのでしょうか? そのように考えると来年や再来年の成長が今から楽しみです。1年生のみんな! 本当に練習から当日までよく頑張りました! そして1年生に素晴らしい姿を魅せてくれた先輩方、本当にありがとうございます! (1年学年主任 瀬戸根)

2年生は、にじうたコンサートに向けて、1組「Yell」、2組「手紙～拝啓15の君へ～」とそれぞれのクラスで合唱に取り組んできました。音程が合わず苦戦したり、練習で仲間とうまく折り合えなかったり、さまざまな経験をしたが、投げ出さずに練習期間中ががんばりつづけ、本番では学年合唱「あさがお」とあわせ、見事なハーモニーを体育館に響かせることが出来ました。3年生の合唱、またステージでのダンスや開閉会式での話など、立派な最上級生の姿を見て、自分たちも来年立派な最上級生になれるようにがんばってほしいと思います。

(2年学年主任 川上)

人って自らの意思をもって取り組むとこんなにも素晴らしい成果となって現れるんだということをつくづく感じた学習発表会でした。ダンス発表について言えば、1、2年生の頃の皆さんを思うと人前で楽しくダンスを披露するなんて想像もできませんでした。でも卒業した先輩のかわかいいダンス発表にあこがれ、自らの意思をもってダンスの授業を選択。本番はどのグループも完成度の高い圧巻の演技で、みんなが生き生きと輝いていました。そして合唱。今まではお互いにそれなりに合わせてきたのかもしれませんが、でも今年は違いました。それぞれが真剣に本気で取り組みました。「3年生として後輩にどんな姿をみせたいか」そんなことも考えました。しかし、気づくといつのころからか「後輩にみせたい」よりも「自分が、自分たちがこんな風に歌いたい」という強い意識が芽生えてきていました。そこからは格段にレベルアップして行きました。運動会後の感想で「今までで一番楽しかった」とありました。本気で取り組んだからです。この学習発表会も同じです。自らの意思をもって本気で取り組んだから「最高だった」という感想が聞こえてくるのです。そしてそれが鑑賞している人たちの心に響きます。今年の学習発表会。本当に素晴らしかったです。感動しました。すてきな時間をありがとう。(3年学年主任 山崎)

